

特集Ⅴ 沿線価値向上の取り組み

中央ラインモール

「選ばれる沿線ブランドづくり」をめざして、街がつながる連続立体交差事業を契機に、中央線三鷹～立川駅間の高架下空間を活用した中央ラインモールプロジェクトを推進しています。「緑×人×街 つながる」をコンセプトに、駅という「点」だけではなく、ひとつの路線とその沿線を一体として捉えた「線」や「面」の開発を推進し、食物販売、飲食店を中心に展開した「住んでみたい」と思われる沿線ブランドの確立、ひいては沿線価値の向上をめざしています。



Suicle

JR東日本グループでは、街の回遊性や地域の活性化、低炭素社会への貢献等を目的として、Suicaを用いたサイクルシェアシステム「Suicle」を展開しています。中央線武蔵境駅や東小金井駅隣接高架下駅からの2次交通の拠点であるとともに、街なかポートを整備し、乗り捨てできるコミュニティサイクルです。2013年11月3日に開業し3箇所を整備済みで、株式会社ジェイアール東日本企画が運営しています。



コトニア

「COTONIOR」はJR東日本グループが推薦する子育て支援と高齢者福祉の複合施設です。コトニアの展開を通じて、子どもたちはお年寄りへの思いやりや尊敬する心を育み、高齢者の方々は子どもたちに癒され、気力の充実に繋がってほしいと考えています。第1弾となる「コトニア吉祥寺」は東京都認証保育園と通所介護施設等の複合施設となっています。



コトニア 園庭

文化

鉄道文化財団

JR東日本の経営資源を継続的に社会貢献活動に役立てるため、1992年に財団法人東日本鉄道文化財団を設立し、鉄道を通じた地域文化の振興、鉄道に関する調査・研究の促進、鉄道にかかわる国際文化交流の推進等に取り組んでいます。主な活動内容は、鉄道博物館・東京ステーションギャラリー・旧新橋停車場・旧万世橋駅の運営、地方文化事業支援、アジア各国の鉄道事業者の研修受け入れなどであり、ホームページ(<http://www.ejrcf.or.jp/>)等で情報発信を行っています。なお2010年4月には公益財団法人となりました。

鉄道博物館

①鉄道にかかわる遺産・資料の調査研究を体系的に行う「鉄道博物館」、②実物を中心とした展示により鉄道の歴史を語る「歴史博物館」、③鉄道の原理・仕組みや技術について体験的に学習できる「教育博物館」、の3点をコンセプトに2007年10月14日(鉄道の日)に埼玉県さいたま市にオープンしました。以来、多くのお客さま(2013年度は約80万人)にご来館いただいています。2013年11月には7ヵ国10ヵ所の博物館が集い、「第1回世界鉄道博物館会議」を開催し、博物館同士の相互理解や情報の共有化等を図りました。



「鉄道博物館」



次代の担い手とともに

鉄道少年団

公益財団法人交通道德協会が運営する「鉄道少年団」では、青少年へ向けた交通道德の高揚を目的として、全国で約1,000名の団員が多彩な活動を行っています。当社管内には約400名の団員が在籍しており、この活動をサポートするため、各支社に事務局を設置し、駅の清掃活動や各種鉄道施設の見学といった活動を通じて、次世代の交通道德の向上に資するよう、積極的な支援を続けていきます。

国際

国際協力

JR東日本では、国土交通省や国際協力機構(JICA)等の要請や依頼に基づき、アジアの国々へ鉄道専門家を派遣し、培ってきた技術やノウハウを紹介したり、開発途上国から研修生を受け入れて専門分野の講義等を行ったりするなど、国際協力の取り組みを展開しています。

また、JR東日本は海外の鉄道関係者からの視察等も積極的に受け入れており、2013年度に当社を訪問した海外からの視察者は54ヵ国、892名に達しています。これらの視察者には、各国の政府関係者や鉄道関係者のほか、海外の大学や研究機関の研究者なども含まれており、相互理解の促進にも役立っています。



新幹線車両メンテナンスの視察
(東京新幹線総合車両センター)



東京駅の視察

国際機関を通じた世界への貢献

JR東日本は、加盟する国際鉄道連合(UIC)や国際公共鉄道連合(UITP)、欧州鉄道会社共同体(CER)、米国鉄道協会(AAR)、米国公共輸送協会(APTA)等の鉄道国際機関が主催する国際会議や発行する出版物等を通じて、積極的に情報収集・発信を行っているほか、世界の鉄道の発展にかかわる様々な課題の解決に積極的に取り組んでいます。

また、海外の鉄道関係者に、日本の鉄道システムの特長をアピールするため、国際会議の誘致にも意欲的に取り組んでいます。2014年4月にはUITPアジア太平洋地域総会を東京地下鉄株式会社(東京メトロ)との共催により東京で開催しました。10月にはUICアジア太平洋地域総会を当社の主催により、東京で開催いたします。また、2015年7月にはUICとの協力により、高速鉄道に特化した国際会議・展示会としては世界最大規模を誇る「UIC世界高速鉄道会議」を東京で開催いたします。

また当社は、2013年1月からUICアジア太平洋地域議長を務めているほか、2013年5月からは、UITP副会長を務めており、これからも鉄道国際機関の活動を通じて、世界の鉄道の発展に貢献してまいります。



UICアジア太平洋地域総会(毎年2回開催)
(2014年5月 台湾)



UITPアジア太平洋地域総会
(2014年4月 東京)